15 送り仮名・形の似ている漢字・熟字訓

要点のまとめ

送り仮名の付け方の主なきまり

ルール①形の変わる言葉（動詞・形容詞・形容動詞）は、変わる部分（活用語尾）から送る。

例 読む―読まない―読もう　強い―強くない―強ければ　（動詞・形容詞・形容動詞 ➡110ページ）

- 「しい」で終わる形容詞は、「し」から送る。 例 美しい
- 「か・やか・らか」を含む形容動詞は、その部分から送る。
  例 静かだ　鮮やかだ　朗らかだ

ルール外

- 読み間違えを防ぐためなどで、活用語尾の前から送る言葉もある。
  例 教わる　危ない　和らぐ　冷たい　照らす（「照る」を含む）

※他の言葉を含む言葉は、含まれる言葉の送り仮名にならう。 例 照らす

ルール②名詞には送り仮名を付けない。

例 車　緑　手紙　（名詞 ➡108ページ）

ルール外

- 読み間違えやすい言葉は、最後の一字を送る。 例 後ろ　幸せ
- 他の言葉から名詞になったものは、もとの言葉の送り仮名の付け方にならう。 例 寒さ↑寒い　眠り↑眠る　流れ↑流れる

ルール③複合語はもとの言葉の送り仮名の付け方にならう。

例 読み取る（読む＋取る）　枯れ葉（枯れる＋葉）

※習慣に従い、送り仮名を付けないもの　例 組合　物語　立場　受付　合図

形の似ている漢字

- 書き間違えたり読み間違えたりしやすい、形の似ている漢字に注意する。

例 苦（苦労）―若（若者）　眠（睡眠）―眼（眼科）　抑（抑制）―仰（信仰）
衝（衝突）―衡（均衡）　凝（凝固）―擬（模擬）　紛（紛争）―粉（小麦粉）

熟字訓

- 熟語の読み方の一種で、漢字一つ一つを音読みしたり訓読みしたりするのではなく、熟語全体で特別な読み方をするもの。 例 梅雨　雪崩　今日

確認問題

1 送り仮名　次の――線の送り仮名が正しいものを一つずつ選び、記号で答えなさい。

① ア 彼の学校とは教科書が違がう。
　 イ 長さが違うことに注目する。
② ア 幼い妹と手をつなぐ。
　 イ 彼は、することが幼ない。
③ ア 祖母の家を訪ねる。
　 イ 戦争の跡を訪る旅。
④ ア 清かな川の流れ。
　 イ 清らかな心を保つ。
⑤ ア 人口減少が著しい。
　 イ 技術の著じるしい進歩に目を見張る。
⑥ ア お化け屋敷で肝を冷やす。
　 イ ねんざした足を氷で冷す。
⑦ ア うそ偽りのない真実だ。
　 イ 偽わりを言うな。
⑧ ア 多くの時間を費す。
　 イ 趣味に金を費やす。
⑨ ア 犯人を捕える。
　 イ 珍しいチョウを捕らえる。
⑩ ア 目前に広がる海は穏やかだ。
　 イ 彼の瞳は穏かだ。

ポイント　まず、送り仮名のルールに従って、形の変わる言葉（動詞・形容詞・形容動詞）は、「ちがう↓ちがわ（ない）」などと形を変えてみて確認する。訓読みが複数ある漢字では、原則外の送り仮名が付いていることがある。副詞・連体詞・接続詞は「必ず」「来る」「及び」のように、最後の音節を送るというルールもある。

2　送り仮名　次の――線の片仮名を漢字と平仮名で書きなさい。

① 銀行にお金をアズケル。
② 彼はチームをヒキイル主将だ。
③ 図書館で本をカリル。
④ 畑をタガヤス。
⑤ 赤ちゃんをサズカル。
⑥ ミズカラ立候補する。
⑦ 氏名をタシカメル。

ポイント　上一段活用動詞や下一段活用動詞では、活用語尾の最初の文字はどれも同じ（例 妨（さまた）―げる　妨―げ（ない）　妨―げれ（ば）　妨―げろ）だが、同じでも活用語尾全てを送るのが原則。変わる部分だけを送らないように注意する。　動詞 110ページ

3　送り仮名　次の――線の漢字は、①「温」、②「誤」である。これらの漢字に正しく送り仮名を付けなさい。　〈宮城〉

① あたたかい紅茶を飲む。　温
② あやまりを正す。　誤

ポイント　①「あたたかい」は形容詞だが、「あたたかだ」という形容動詞からできた言葉。
②「あやまり」は名詞だが、「あやまる」という動詞からできた言葉。　動詞・形容詞・形容動詞 110ページ

4　形の似ている漢字　次の――線の漢字として適切なものを、それぞれ下から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① テレビ番組をロク画する。（ア 緑　イ 録）
② マズしい人々。（ア 貧　イ 貪）
③ 使節を派ケンする。（ア 遣　イ 遺）
④ 国がメツ亡する。（ア 滅　イ 滅）
⑤ 義務をスイ行する。（ア 逐　イ 遂）
⑥ 適切なソ置をとる。（ア 措　イ 惜）

① ［　　］　② ［　　］　③ ［　　］　④ ［　　］　⑤ ［　　］　⑥ ［　　］

ポイント　部首が異なり他の部分が同じ漢字は、部首から漢字の大まかな意味を考えて、正しい漢字を選ぶ。訓読みの漢字は、その漢字を使用した熟語を思い出すことで正しい漢字がわかる場合がある。

5　熟字訓　次の熟字訓の読みを平仮名で書きなさい。

① 八百屋　［　　］
② 眼鏡　［　　］
③ 二十歳　［　　］
④ 白髪　［　　］
⑤ 足袋　［　　］
⑥ 小豆　［　　］
⑦ 行方　［　　］
⑧ 五月雨　［　　］

ポイント　「熟字訓」をきかれたときは、音読みできる場合でも必ず熟字訓で答える。

6　熟字訓　「時雨」の読みを平仮名三字で書きなさい。　〈宮城〉

［　　］

ポイント　「時雨」は晩秋～初冬にかけて降る通り雨のこと。